

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛信芳主会	代表者	塚本主恵夫	法人・ 事業所 の特徴	カトリック精神に基づき愛と真心を持って福祉事業に努める。 「施設理念」として①笑顔を提供する ②とにかくやってみる ③残りの時間を大切に考える ④本人や家族の想いを考える ⑤プロとして学び行動する
事業所名	丘の上倶楽部	管理者	亀井裕之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①常勤はスタッフ個別評価へのコメント記入を徹底します ②全員参加会議を年2回開催する ③事業所自己評価のまとめに関わる職員を増やす	①コメント記入は概ね出来ている ②全員参加の会議は実施出来なかった ③まとめ時のミーティングにはある程度の職員が参加出来た	全職員参加のミーティングが出来ていない 派遣職員も増え、取り組み姿勢などに温度差がある 評価項目が当てはまらない場合がある	①常勤はスタッフ個別評価へのコメント記入を徹底します ②中間点で目標の再確認と達成度の評価を取り入れる
B. 事業所のしつらえ・環境	①運営推進会議開催時等に事業所の様子を個別に見学していただけます。 ②植え込み等外回りの手入れを年数回実施します。	①個別の見学は行わなかった ②植え込みの手入れは、職員や造園業者によって行っている	道路から通行人が見ても、何の施設か判らないため、入り難い 玄関などに説明や工夫がない 法人としてあまり華美な看板などは好まない	①運営推進会議の開催場所を事業所内に変更し、様子が判るようにする ②植え込み等外回りの手入れを実施し、外観の景観に配慮する
C. 事業所と地域のかかわり	①所在地区以外に近隣の町会にも活動の場を広げ、イベント等に参加する機会を確保します。 ②介護相談だと敷居が高いので随時相談を受け入れているPRを行う	①八王子市内で行われるイベントや行事には参加出来た ②相談には随時対応しているが、具体的にPRは出来ていない	事業所の所在地は、新興住宅地で高齢化も進んでいないため、あまり関心がない ホームページなどで情報収集して相談される方も多く、飛び込みで相談される事が少ない	①所在地区以外に近隣の町会にも活動の場を広げ、イベント等に参加する機会を確保します ②休日や夜間でも職員が居る事を周知し、困った時の相談先として認知してもらう
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	①利用者が今まで行っていた場所への同行など、自宅での生活を継続する支援をします。	①一部の方で実施できたが、全員のニーズを実施出来てはいない	近隣の心配な方等の情報が取れない 外出レクなどでは行事に参加している	①利用者が今まで行っていた場所への同行など、自宅での生活を継続する支援をします
E. 運営推進会議を活かした取組み	①運営推進会議への本人や家族の参加を促すため土日祝日の開催など、参加しやすくなるような取組みをいたします。	①土日祝日開催は実施しなかった。	土日祝日の参加は毎回でなくても良いのではないかと。 地域で心配な方の情報が無く話し合う機会がなかった	①推進会議への参加者を増やすため、土日祝日の開催を取り入れる ②個別の事例についての報告を行い、検討する機会を取り入れる
F. 事業所の防災・災害対策	①地域の防災訓練に参加します。 ②事業所の防災訓練に地域や外部との連携を組み込みます。 ③BCP（事業継続計画）についての訓練を取り入れます。	①地域の防災訓練は参加している ②事業所の防災訓練に外部の参加は無かった ③BCP訓練は実施していない	地域の自主防災会の訓練には参加している 事業所の訓練への参加は呼び掛けていない 一般の方は車いすの操作さえした事が無い方もいるので、緊急時の避難訓練として、取り入れてはどうか。	①地域の防災訓練に参加します ②地域の防災訓練に高齢者や障害のある方の避難訓練を取り入れてもらう ③BCP（事業継続計画）についての訓練を実施する